



溶接ロボットのランニングコスト低減に貢献！

— アーク溶接ロボット用シールドガス節約器 —

「ガスセーバー GFC」を新発売!!

株式会社ダイヘン(田尻哲也社長、本社:大阪市)では、このたび、アーク溶接で使用するシールドガスを節約し、ロボットのランニングコスト低減に貢献するアーク溶接ロボット用シールドガス節約器「ガスセーバー GFC」を新たに商品化しましたので発表致します。

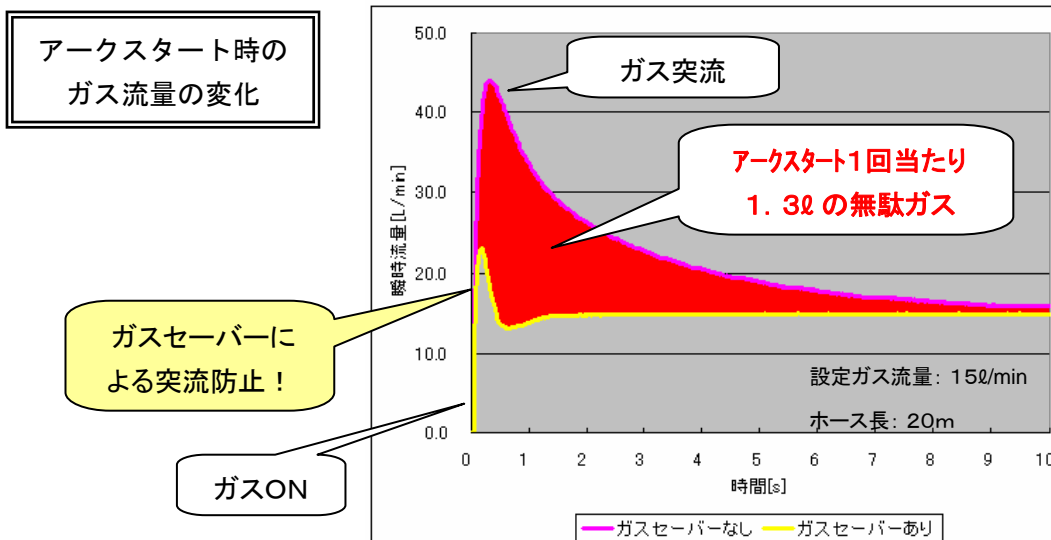
■新製品名

- ・ アーク溶接ロボット用シールドガス節約器
「ガスセーバー GFC」

■新製品の主な特長

1. アーク溶接ロボットのランニングコストを低減！

- ◎ アークスタート時のシールドガスの突流を抑えることで、無駄なシールドガスの放出を防ぎアーク溶接ロボットのランニングコストを大幅に低減します。



2. あらゆる条件下でもガス流量変化がなく、安定した溶接を実現！

- ◎ リアルタイムで流量制御しているので、「ガスホース長の変化」「ガスホース径の違い」「溶接スタートの間隔」「ガス圧力の高低」などの外的な要因によるガス流量の変化を受けることなく、常に高精度な流量を確保します。 ※ガスセーバーのガス流量精度 ±2%
- ◎ 常にガス流量を監視しているので、流量不足発生時にロボットを停止させることができます。
- ◎ 溶接スパッタや高温環境など溶接現場でも安心して使用できる防塵・耐熱構造。

3. 様々な溶接作業で効果を発揮！

- ◎ アークスタート回数が多く、部品点数が多い溶接部品。
- ◎ 集中配管などのホース長が長い溶接ロボットシステム。
- ◎ MIG溶接など高価なガスを使用している溶接ロボットシステム

【シールドガス ランニングコスト削減効果事例】

溶接時間：20秒、溶接回数：1000回のMAG溶接事例（ホース長25m、流量15ℓ/min）

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| ●ガスセーバーGFCあり=ガス使用量4713ℓ | } ガス使用量
22%の削減 |
| ●ガスセーバーGFCなし=ガス使用量6032ℓ | |

■開発の背景

世界的な金融危機と景気低迷を受けて、ロボットの主要ユーザである自動車業界などでは設備投資の抑制、在庫圧縮、原料・部材調達コストの削減を進めています。また溶接工程においては、高品質な溶接を確保する一方、生産コストを更に低減する活動などにも取り組んでいます。

このようなお客様のコスト低減活動に貢献するため、ダイヘンでは溶接工程におけるコストを徹底追及し、アーク溶接ロボットのランニングコスト低減に貢献するシールドガス節約器「ガスセーバー GFC」をこのたび新たに開発し、新発売いたします。

ダイヘンではさまざまな溶接アプリケーションで使用する溶接周辺機器を一層充実させ、溶接工程におけるお客様の悩みを解決する製品をご提供してまいります。

■販売価格

アーク溶接ロボット用シールドガス節約器 「ガスセーバー GFC」

ご需要家様希望価格： ¥180,400

■目標販売台数

「ガスセーバー GFC」 販売台数目標： 約250台/年

■発売時期

2009年10月～ 発売開始。

※2009年度 溶接技術展に出展予定。

■問い合わせ先

株式会社ダイヘン

溶接メカトロカンパニー 企画部 市山隆一

Tel 078(275)2004 / FAX 078(845)8158